

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）

総合分担研究報告書

肝炎サポータと出張肝臓病教室等の利点を生かした就労支援に関する研究

分担研究者：池田 房雄 岡山大学病院消化器内科・助教

研究要旨

当院での企業等への出張肝臓病教室が就労支援に有用であるか検証することを目的に、平成 27 年度に開催した出張肝臓病教室の受講者 354 人に肝炎に対する意識や出張肝臓病教室の効果についてアンケート調査を行った。職場で肝炎陽性者への偏見や誤解があるとの回答は 6.5%だった。病気を理由に休暇を取ることは難しいと 65%が回答した。肝臓病教室受講が肝臓病予防や職場での肝臓病に対する偏見や誤解の解決に役立つと 95%が回答した。50%程度が肝炎検診受検を希望したことから、平成 28 年度は出張肝臓病教室と同時に肝炎ウイルス検査受検機会を設けたところ、肝炎ウイルス検査受検率は 87%と高く、検査陽性者全員が有休を利用して肝炎専門機関を受診していた。出張肝臓病教室による肝炎啓発は肝炎患者が肝臓専門機関を受診受療できる職場環境づくりに有用と考えられ、就労支援の有用な方策の一つと考えられる。

笠原郁子・岡山大学病院医事課難波志穂
子・岡山大学病院新医療研究開発センター
助教

A. 研究目的

当院肝炎サポートチームが職能団体、企業に出向き肝臓病理解を目的とした啓発活動（出張肝臓病教室）をおこなっている。その活動の就労支援に関する有用性を検証する。また、出張肝臓病教室受講者のうち、希望者に同時に肝炎ウイルス検査を受検してもらい、その検査陽性者が肝臓専門機関を受診受療できる職場環境づくりに出張肝臓病教室が有用か検証する。

B. 研究方法

平成 27 年 10 月～12 月に開催した出張肝臓病教室受講者 354 人に肝炎に対する意識や出張肝臓病教室の効果についてアンケ

ート調査を行った。また、平成 28 年 3 月～8 月に開催した出張肝臓病教室受講者のうち希望者に同時に肝炎ウイルス検査を受検してもらった。その検査陽性者には当院肝炎サポートチームから電話連絡し、肝臓専門機関受診のサポートを行なった。肝臓専門機関での受診結果やその後の受療についても集計を行った。

（倫理面への配慮）

当該施設の IRB の承認が得られている。

C. 研究結果

職場にウイルス肝炎陽性者への偏見や誤解があると回答した割合が 6.5%、わからないと回答した割合が 40%程度だった。治療や療養については「仕事に支障をきたす」や「収入に支障をきたす」、「そもそも休めない環境にある」が 65%程度だったことから、病気を理由に休暇を取ることの難しい現状

が推察される。肝臓病教室受講後の回答では、肝臓病教室受講が肝臓病予防や職場での肝臓病に対する偏見や誤解の解決に役立つと95%が回答し、肝炎検診受検を50%程度が希望した。また、10%は既に肝炎検査を受けた、約20%は受検する時間がないなどの理由で受検しないと回答した。

平成28年4月～平成29年2月に出張肝臓病教室を24か所で開催し742人が受講した。平成27年度の受講者アンケートで肝炎ウイルス検査受検希望者が多く存在することが判明したため、17か所の出張肝臓病教室では同時に肝炎ウイルス検査を開催した。受講した531人中462人(87%)が受検し、HCV抗体陽性3例、HBs抗原陽性3例が新たに発見された。その後の検査陽性者追跡調査で全例が肝炎専門機関を受診したことを確認した。HCV抗体陽性者で抗ウイルス療法を開始した1例では出張肝臓病教室で職場の上司や同僚と肝炎の最新知識を共有できたことで治療に踏み切ることができたと回答していた。

D. 考察

出張肝臓病教室受講者の殆んどが、受講したことで職場の肝臓病に対する偏見や誤解に役立つと回答しており、より直接的な肝炎啓発活動の重要性が判明した。また、肝炎検診未受検の受検希望者が実際に受検できるように方策を検討する必要がある。今回、試みとして出張肝臓病教室と同時開催の肝炎ウイルス検査を企画した。その受検率は高く、また、検査陽性者の肝炎専門機関受診率も高かった。受検を希望しないと回答した2割の受講者についても受検を希望しない要因が受検する時間がないと回答してい

たため、その一部は肝臓病教室と同時開催の肝炎ウイルス検査を受検したと推測される。今回の試みは職域での潜在的な肝炎患者を見つけ、肝臓専門機関の受診や受療に有用な方策の一つと考えられる。

E. 結論

出張肝臓病教室を受講したことが、職場の肝臓病に対する偏見や誤解に役立つ。また、出張肝臓病教室と同時に肝炎ウイルス検査を実施すると受検率は高く、検査陽性者の肝炎専門機関受診率も高い。出張肝臓病教室による肝炎啓発と同時開催の肝炎ウイルス検査の実施は就労支援の有用な方策の一つと考えられる。

F. 健康危険情報

特記すべき事なし

G. 研究発表

1. 論文発表

難波志穂子、池田房雄、下村泰之、犬山奈穂美、大久保進之介、榎田崇志、長谷川祐子、岩井賢司、細羽章子、三浦留美、藤井洋輔、安中哲也、竹内康人、和田望、桑木健志、大西秀樹、中村進一郎、白羽英則、高木章乃夫、岡田裕之、職域での出張肝臓病教室と同時開催の肝炎検診の意義 肝臓、2017

2. 学会発表

- ① 笠原郁子、難波志穂子、池田房雄ほか、第17回日本医療マネジメント学会学術総会、就労者を対象とした出張肝臓病教室の開催～肝機能異常の有無での比較～
- ② 下村泰之、池田房雄、難波志穂子、笠原郁子ほか、第51回日本肝臓学会総会、当県

における就労者を対象とした出張肝臓病教室の開催

③ 難波志穂子, 池田房雄, 笠原郁子ほか,
第 51 回日本肝臓学会総会, 大型商業施設での
肝炎検診の有用

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得なし
2. 実用新案登録なし
3. その他なし